

燕市産業史料館で「燕の100年展」を開催

–通水100周年を記念し燕のまちの歩みを紹介します–

燕市産業史料館では、「燕の100年展」を4月8日から開催します。

今から100年前、越後平野を広大な美田に生まれ変わらせた大河津分水。「東洋一の大工事」と言われた採掘工事は、当時不況で苦しんだ燕の金属加工職人の一時的な働き先としての側面もあり、地場産業の形成にも大きく影響を与えました。

この大河津分水路は、今、目にしている何気ないまちの景色や田園風景にも大きく作用し、100年という恵ある時間が今の「燕」の姿を形作ったと言っても過言ではありません。

本企画展では、大河津分水通水100周年を記念し、旧燕地区をはじめ旧吉田地区、旧分水地区の100年前のまちの様子を知ることのできる貴重な資料を紹介します。

【「燕の100年展」の概要】

1.会期：4月8日（金）～5月15日（日）

※休館日：月曜日

2.時間：午前9時～午後4時30分

3.会場：燕市産業史料館 企画展示室

4.内容：旧燕地区の明治時代の貴重な古地図のほか、

旧吉田地区、旧分水地区の写真、映像資料等

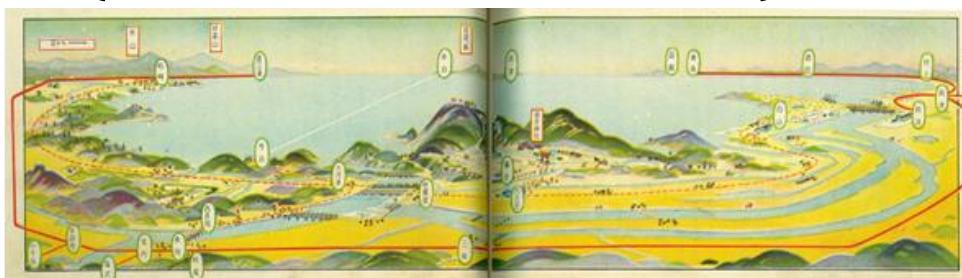
5.展示数：約50点

6.入館料：大人 400円、小・中・高校生 100円

〔※市内小中学生と付き添いの保護者1人は、
ミュージアムパスポートで土・日・祝日無料〕



▲「捧吉右工門商店」のカタログ（昭和3～5年頃）



▲「鉄道旅行案内」（大正13年）中央付近に通水した頃の大河津分水路が描かれています。

100 大河津分水 通水100周年
The Ohkouzu Diversion Channel 100th Anniversary

本件についてのお問い合わせ先
燕市産業史料館：齋藤
電話：0256-63-7666（直通）